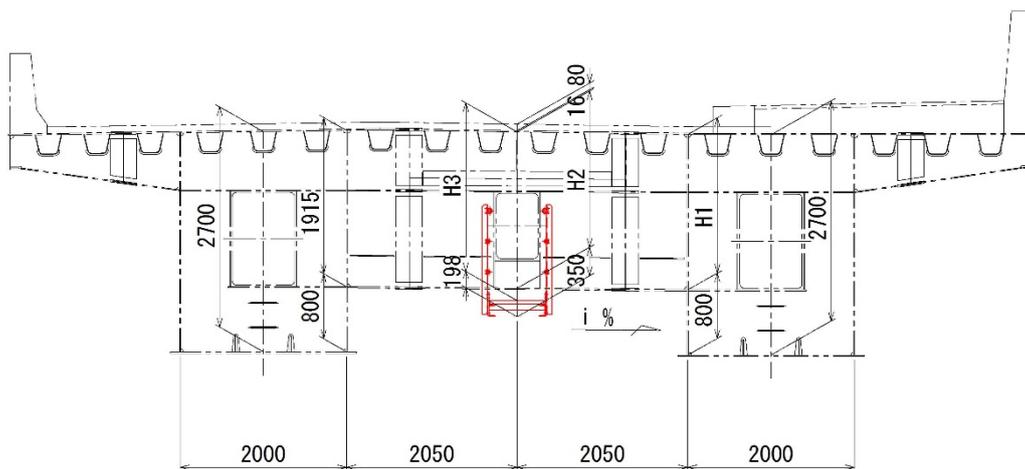


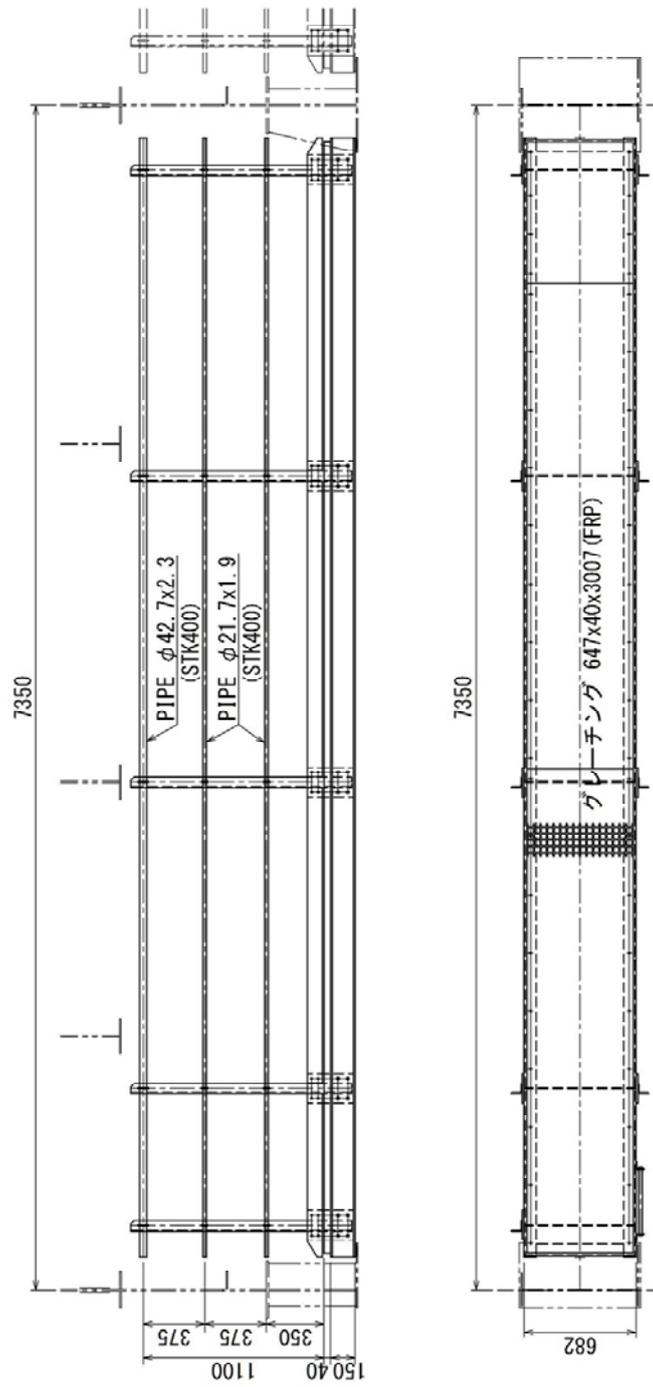
維持管理に配慮した構造細目や工夫事例

| | | |
|------------------------------|------------|---|
| No. | 2-5 | |
| 基本情報 | 構造形式 | 橋梁(上部工) |
| | 設計年次 | 平成 25 年 3 月(防蝕工) |
| | 建設年次 | 平成 29 年 3 月(予定) |
| 維持管理に 配慮した 構造細目や 工夫 | 項目 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上部工(鋼製)防食工:金属溶射(アルミ・マグネシウム合金)の採用 ・ 検査路構造:FRP 床版の採用と防蝕工の工夫 |
| | 検討時期 | 細部設計段階 |
| | 理由・期待される効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上部工(鋼製)の維持管理(防蝕)の低減に着目し、防蝕工について、従来の防蝕(塗装)に比べ LCC で優位となる金属溶射(アルミ・マグネシウム合金)を採用している。 ・ 検査路(歩廊式)の床版について、腐食のない FRP グレーチングを採用するとともに、枠組の主な鋼材については従来の防蝕(溶融亜鉛メッキ)に比べ LCC で優位となる金属溶射(アルミ・マグネシウム合金)を採用している。 |
| | 主な使用材料 | 防食工:金属溶射(アルミ・マグネシウム合金) 検査路構造:FRP 床版 |

図面



橋梁断面図



検査路一般図